

今月の症例

MICS(ミックス)-AVR 右小開胸-大動脈弁置換術

症例: 80歳 男性

主訴: 労作時息切れ

診断: 重症大動脈弁狭窄症



皮膚切開: 第2肋間



石灰化した大動脈弁



生体弁を留置

メリット

- ①皮膚切開は5cmと小さく、創部が目立たない
- ②胸骨切開をおこなわないため、**出血の少ない手術**が可能
- ③**早期退院、早期の社会復帰**が可能(本症例は術後8日目に自宅退院)



文責 崔 容俊

スタッフ紹介 Vol.6



藤井 温子

(ふじい あつこ)

医師

心臓血管外科

1986年生 千葉県出身

金曜日午後の下肢静脈瘤外来、水曜日の下肢静脈瘤手術(主に高周波焼灼術)を担当しております。下肢静脈膨隆をはじめとして、下肢浮腫やうつ滞性皮膚炎など、足のことでお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、幅広くご相談いただければ幸いです。

